

ADESSO

日めくり電波時計 with メモパッド MODEL: HM-602 取扱説明書・保証書付

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用いただく前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいた
だきますようお願いいたします。また、この取扱説明書(保証書付)はお手
元に保存の上、必要に応じてご覧ください。

本製品の特長

- 時刻合わせ不要の電波時計。
- 大きな日付表示。
- ご家族へのメッセージやメモ書きに便利な電子メモパッド付。

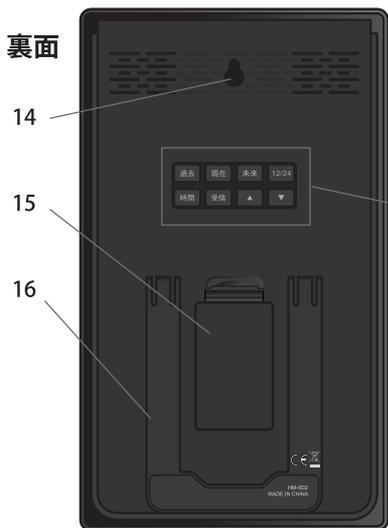
各部の名称

液晶・前面



- ペンホルダー
- ペン
- 電波受信アイコン
- 月表示
- 日表示
- 曜日表示
- 午前/午後表示
- 時表示
- 分表示
- 秒表示
- 電池切れ注意アイコン
- メモパッド
- メモ消去ボタン

裏面



- 壁掛け穴
- 電池フタ
- スタンド

ボタン



- 過去ボタン
- 現在ボタン
- 未来ボタン
- 12/24時間制表示切替ボタン
- 時刻セットボタン
- 強制受信ボタン
- プラスボタン
- マイナスボタン

内容物の確認

- 時計本体 1個
- メモパッド用ペン 1本
- 単3乾電池 2本
- 取り扱い説明書/保証書(本紙) 1枚

電波受信方法

1. 本体裏面の電池フタを開けて、付属の単3乾電池x2本を⊕⊖の向きに
気を付けて入れてください。(絶縁紙が入っている場合ははずしてください)
2. 電波受信アイコンが点滅しているのを確認してください。本体を窓際など
できるだけ電波の受信しやすい場所に置いてください。
(10分以上受信にかかる場合があります。)
3. 受信が成功した場合は、電波受信アイコンが点灯したままになり、日付、時刻が
正しく表示されます。受信を失敗した場合は、電波受信アイコンが消えます。
設置場所を変えてもう一度、強制受信ボタンを押してください。
手動で設定する場合は受信停止ボタンを押した後、電波を受信中でないことを確認し、
下記の「手動での設定方法」をご参照ください。

電波受信アイコンについて



三角形の上で3本の線が点滅している→受信環境良好



三角形のみ点滅→受信環境が良くありません。置く場所を変えてみてください。

手動設定方法

- 電波を受信できなかった際は、手動で設定することができます。この場合時計は
クォーツ精度で動作します。
1. 本体裏面の時刻セットボタンを長押ししてください。
「2020」が点滅しますのでマイナス/プラスボタンのどちらかで正しい
「年」を設定してください。長押しすると早く数字を変えることができます。
時刻セットボタンを押してください。
 2. 「1」が点滅しますのでマイナス/プラスボタンのどちらかで
正しい「月」を設定してください。長押しすると早く数字を変えることができます。
時刻セットボタンを押してください。
 3. 「1」が点滅しますのでマイナス/プラスボタンのどちらかで
正しい「日」を設定してください。長押しすると早く数字を変えることができます。
時刻セットボタンを押してください。
 4. 「12」が点滅しますのでマイナス/プラスボタンのどちらかで正しい「時」を
設定してください。長押しすると早く数字を変えることができます。
時刻セットボタンを押してください。
 5. 「00」が点滅しますので(分が進んでいる場合もあります。) マイナス/プラスボタン
のどちらかで正しい「分」を設定してください。
長押しすると早く数字を変えることができます。時刻セットボタンを押して完了です。

その他

- 本体側面の12/24時間制表示切替ボタンで12時間制か24時間制表示かを
切り替える事ができます。
(例: 12時間制の場合 午後 08:00 / 24時間制の場合 20:00)
- 過去ボタンを押すと過去、未来ボタンを押すと未来の日付を見ることができます。
現在ボタンを押すと現在の日付に戻ります。
- 液晶に電池切れ注意アイコンが表示されたら、新しい電池に交換してください。

メモパッドについて

- 画面を傷つける恐れがあるので、専用のペン以外でメモパッドに書かないでください。
- メモパッドに物を当てたり、強く押さえたり、本体を落としたりすると、メモパッドが
割れる恐れがあります。万が一割れた場合はメモパッドや漏れた液体には触らないで
ください。なおメモパッドが割れた場合は保証期間中であっても無償保証対象とは
なりませんのでご注意ください。
- 故障、修理、検査、電池消耗などに起因するデータの損失については、当社は
いっさい責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電波クロックについて

●電波修正機能とは

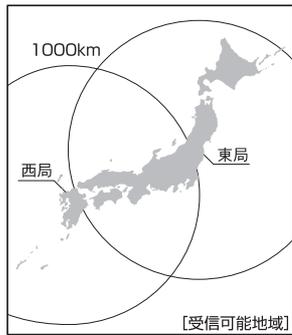
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

●標準電波とは

福島県の大鷹鳥谷山(おおかたどややま)標準電波送信所(周波数40KHz)と、福岡・佐賀県境の羽金山(はがねやま)標準電波送信所(同60KHz)の2ヶ所から常時送信されています。標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という超高精度の『セシウム原子時計』によるものです。

●電波受信の条件

受信可能地域の目安は、条件により異なりますが各送信所よりおおむね1000kmです。受信範囲内であっても、地形・建物の影響などによる不受信や天候・設置場所・時計の向き・時間帯により受信できない場合があります。通常は東日本では東局(周波数40KHz)西日本では西局(同60KHz)の電波がより受信しやすいと考えられています。ただし、地域、地形などの影響により、遠い方の送信所の電波を受信する可能性がありますので、受信に失敗した場合はもう一方の送信所からの電波もお試しください。※標準電波は、送信所の設備点検や落雷などの影響により停波される場合があります。



※電波を受信できない場合は、通常のクォーツ時計として月差±30秒の精度で計時します。

●受信に適している場所、不向きな場所・時間帯について

本製品は、AMラジオと同様に内蔵のレシーバーにより電波を受信するものです。できるだけ、電波の受けやすい窓際もしくは時計本体の正面または裏面が送信所の方向に向く場所でご使用下さい。

次のような場所・時間では正確に受信できないことがあります。

- ①鉄筋・鉄骨の建物の中、ビルの谷間、地下。
- ②電波を受信するのに妨げとなるノイズ(妨害波)の影響を受ける場所。
 - ・交通量の多い所、工事現場、電車の架線、高圧線、電波塔、空港の近く。
 - ・テレビ、インバータエアコン、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器近く。
- ③電波が反射されやすく、受信しづらい場所。
 - ・スチール机などの金属製家具の上や近く、金属を使った壁面。
- ④乗り物の中。(自動車、バス、電車など)
- ⑤その他ラジオが受信しにくい場所など。
- ⑥昼間は生活上のノイズが多く発生するため受信がしづらくなっています。夜間に受信することをおすすめします。

電池について

- 電池が消耗すると表示が薄くなるなど、正確に作動しなくなりますので、新しい乾電池と交換してください。電池ボックスを開けて+-を正しくセットしてください。

※付属の電池は、工場出荷よりテスト用として入れられているモニター電池です。

警告

●アルカリ電池について

- ①ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- ②万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときはきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

●電池について

- 下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと、液もれや破裂などのおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。
- ①⊕⊖を正しく入れてください。
 - ②電池を取り替えるときは、指定の新しい電池とすべて交換してください。
 - ③この電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
 - ④電池に直接ハンダ付けしないでください。
 - ⑤直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。
 - ⑥時計が止まったり、時計を使わないときは、電池をはずしてください。

- 電池は1年に1度電池切れしていなくてもご交換ください。電池が液漏れする恐れがあります。

液晶パネルについて

- 液晶パネルが破損した場合、ガラス及び中の液晶には十分に注意してください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。
- 皮膚に付着した場合、付着物をふき取り、水で洗い流し、石けんで良く洗浄してください。
- 目に入った場合、きれいな水で良く洗い流し、最低15分間洗浄した後、直ちに医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合、きれいな水で良く口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、直ちに医師の診断を受けてください。
- 見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
- 温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなる場合があります。

使用場所・お手入れ方法

■使用場所

つぎのような所では、使わないでください。

- 温度が-10℃(氷点下10度)以下になる所。
- 温度が+50℃(50度)以上になる所や直射日光が当たる所。例えば、屋外、暖房器具などの熱風や熱が当たる所、そのほか火気に近い所。
- 浴室など湿気の多い所。
- 強い磁気や振動がある所。
- 電波ノイズを発生させるものの近く。

■お手入れ方法

日常の手入れの仕方。

- わくをふくときは、湿ったやわらかい布でふいてください。
- よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾かしてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。
- 殺虫剤、ヘアスプレーなどもかかからないようにしてください。